

結婚やプロポーズなど夫婦の記念日に合わせて、改めて感謝の気持ちを伝え、絆を確かめ合う。そんな場を提供するサービスがブライダル業界で相次ぎ登場している。子育てが一段落したタイミングなどで、パートナーへ愛情を伝える場にしてもらおうと、様々なプランを提案している。

(武田泰介)

♡リゾート地で

昨年2月、沖縄のチャペルで結婚30周年を祝ったさいたま市の中島重之さん(58)と妙子さん(52)夫妻は、アロハシャツとハワイのドレス「ムームー」の姿で入場。互いに感謝する手紙を朗読して誓いの言葉を述べた後、おでこへのキスで改めて愛を誓い合った。

2人が利用したのは、ブライダル大手のワタベウェディング(京都市)の「パウ(誓い)・リニューアル」というプランだ。欧米では広く行われているというセレモニーで、結婚記念日や子供の結婚式などに合わせ、証明書へのサインなどを行う。「30年前の結婚式とはまた違った楽しさがあった」と中島さん。

# 愛の誓い♡もう一度

♡結婚記念日などを祝う新たなサービスや場が登場

※プランの内容は予算やコースによって異なる

	エスクリ	ワタベウェディング	八芳園
名称	♡「リプロポーズ」	♡「パウ・リニューアル "Yes, again."」	♡「アニバーサリーガーデン」
主な内容	♡チャペルでのセレモニー、リプロポーズ証明書、フレンチのディナー、記念撮影など	♡リゾート地のチャペルで式典(牧師付き添い)、撮影、生花のレイなどのセット	♡記念日専用のレストラン。結婚式当日のメニューを再現して提供するサービスも
(例)価格	10万円(税別、スタンダードプラン)	9万8000円(ハワイの場合、平日限定)	バレンタインディナー 6000円(税別、1人分)
場所開催	東京5会場、大阪2会場	ハワイ、グアム、沖縄、パリ	東京都港区



「パウ・リニューアル」の式で結婚30周年を祝った中島さん夫妻(ワタベウェディング提供)

## 記念日にプラン様々

同社は昨年からインターネット限定で専用プランを販売している。沖縄のほかハワイやグアムの会場も好評で、昨年12月にはパリも含む計4か所になった。「夫婦や家族旅行を契機に改めて愛を誓ってみたい」

## 感謝伝え 君といつまでも

との提案で、チャペルの使用料や牧師への謝礼、レイ(花輪)などのセットで平日限定だ。

♡再プロポーズ

挙式や披露宴の企画・運営を手がけるエスクリ(東京都港区)は昨年11月、結婚記念日などに夫婦が愛を誓う「リプロポーズ」と銘打ったサービスを始めた。自社で運営する結婚式場のチャペルを使う。牧師の前での誓いや、証明書へのサインなど結婚式さながらのセレモニーで、家族を交えた会食や写真撮影もセットすることができる。

価格はスタンダードプランで10万円(税抜き)。主に子育てが一段落したミドル・シニア層や、同社の式場で挙式した新郎新婦の両親らがターゲットだ。会場は東京5か所、大阪2か所から選べる。

エスクリの村井美登里さんは「欧米人と比べ、日本人は愛情表現が苦手と言われている。再度のプロポ

ズの機会を提供することで、新婚当初の気持ちを思い出し、未永く幸せな夫婦関係が築けるようなサービスを目指したい」と語る。

♡専用レストランも

結婚式場の八芳園(東京都港区)は2年前に、結婚記念日などでの利用を専門としたレストランをオープン。結婚式で味わったメニューを再現するほか、年に1度、八芳園で挙式したカップルを招く「サンクスパーティー」も開いている。ブライダル業界が「結婚後」のサービスに力を入れるのは、少子化が進むなか、挙式や披露宴を行わない「なし婚」の増加など、ウェディング市場の先細りへの危機感もある。リクルートブライダル総研(東京)によると、結婚式の実施率(予定も含む)は2016年調査で68%で、年々低下している。

「結婚式を契機に、顧客とのつながりを持ち続ける『生涯式場』でありたい」(八芳園の担当者)との思いがサービスの幅を広げそうだ。